無意識のバイアスを超えるために__*Beyond Bias and Barriers*__
（チェックシート学会用）

あなたの（所属する）学会では、「無意識のバイアス」をクリアして「女性会員の可視化」と「能力発揮」を進めるために、下記の事項を行っていますか？

１．**啓発活動**： 該当するところにチェックを入れて下さい.

無意識のバイアスに関する啓発活動	行っている	行ったことがない	わからない
リーフレットの配布、ビデオ視聴			
セミナー・講演会			
ワークショップ開催 / 参加			

２．**制度改善・改革**：行っているもの全てを選んでください（□にチェックを入れる）.

- □ 学会理事・評議員に「無意識のバイアス」に関するトップセミナーを定期的に行う
- □ 男女共同参画委員会委員、ダイバーシテイ推進委員会委員に対する「無意識のバイアス」に関するセミナーを定期的に開催
- □ 人事や賞選考委員会に先立って「無意識のバイアス」に関する啓発活動を行う
- □ 学会理事会・評議委員会に女性枠を設ける
- □ 各種委員会委員の女性割合に学会女性会員割合を反映させる
- □ 学会学術賞に女性賞を設ける
- □ 年会のシンポジウム・ワークショップのオーガナイザーに必ず女性が入る
- □ オーガナイザーが男性だけの場合、そのセッション開催を認めない
- □ 学会会員に対するキャリアパス相談（会）
- □ 年会保育室を設置あるいは子育て世代の年会参加者への経済的支援

３．**統計調査（経年調査、定点観測）**：行っているもの全てを選んでください（□にチェック）.

- □ 会員の女性割合調査と記録の保管・公開
- □ 会長・理事・評議員等、学会リーダーの女性割合調査と記録の保管・公開
- □ 各種委員会委員の女性割合調査と記録の保管・公開
- □ 年会発表者（一般・ワークショップ・シンポジウム）の女性割合調査と記録の保管・公開
- □ セッションオーガナイザーの女性割合調査と記録の保管・公開
- □ 学術賞、教育賞、功労賞等の女性割合調査と記録の保管・公開

----------❖----------❖----------❖----------❖----------❖----------

上記のチェックシートは、2018 年 10 月 8 日に開催された男女共同参画学協会連絡会・第 16 回シンポジウム【午前の部 ①】「Unconscious Bias について考える」の配布資料です。

文責　大坪　久子（日本遺伝学会）

平成 30 年 10 月 13 日